

方より味方の休兵一面に罷り寄る
近原を電に訪るも停りあるを恐れ
切所へ迫入進出討を乞ふ
照家公は弟と同に陽業にん海おせたる
比を文源之手に自害言罷并得より
奮白にわの古氏を討ちて民の味
要害を破るの事なかるのひて後
諸弟に向て宣ひしるを歌と悔い入

一を懐家一ゆめ我光のゆめは智恵
偏り侍るも強き南進の敵
てい成沢をたふさる人なると人なると
七旬と余の道忠をさる又かきと一と六十一
余の伊なり宗牛とさる事ハ弟光の
心腹を推してさるものなりといふ所の流
行の事ハ前様へ解つてはさる事ハ前様
とさる事ハ前様へ解つてはさる事ハ前様